

倉木麻衣もその歌声に酔いしれた ポップス界の貴公子=マイケル・ブーブレ武道館初日本公演 会場を一体感で包み大盛況に終了！

去る2月6日(金)に日本武道館にて、グラミー最優秀賞4冠を達成しているカナダ出身シンガーソングライターのマイケル・ブーブレの公演が開催された。

デビュー12年目にして初となる来日公演。炎が舞うなか、タキシードを着用して(ステージ上に登場したスロープを降りて)颯爽と登場したマイケル。冒頭から「僕のショーは、ただ拍手をするようなものじゃない。みんなが歌って踊れるパーティ空間なんだ！」と会場を盛り上げ、サインボードを持参していた女性ファンにサインをしたり、ハグをするサービスっぷり。また、最新アルバム『トゥ・ビー・ラヴド』収録曲を含む自身のナンバーばかりでなく「僕が歌うと祖父母が一番喜ぶ」というバックストリート・ボーイズから、ダフト・パンク、(ハートの紙吹雪が舞った)ビートルズまで幅広い楽曲をカバー。終始、感動と笑顔にあふれるパフォーマンスで満杯の観客を魅了。世界を代表するエンターテイナーとして圧倒的な存在感をみせたマイケル。ラストには「必ずまた近いうちに日本でショーを披露するよ！」と笑顔でステージを去っていった。

またこの日は、長年マイケルの大ファンである歌手の倉木麻衣さんが、記念すべき初日本公演を観覧。楽曲の素晴らしさ、そしてマイケルの比類ないボーカリストとしての才能に魅力を感じるという倉木さんは、昨年の15周年ツアー中もずっとアルバムを聴いてリフレッシュをしていたそうだが、何と今回念願叶ってマイケル本人に挨拶する機会に恵まれ彼の元へ訪れた。ステージ前ということもあり、当初は簡単な挨拶だけを予定していたが、

Photo by TEPPEI KISHIDA



Photo by TEPPEI KISHIDA



すっかり倉木さんの事を気に入ったマイケルは彼女を楽屋の中に招き入れた。そして、ステージ直前に毎回恒例となっているウォームアップ・パフォーマンスとしてチープ・トリックの「甘い罠」を倉木さんの目の前で披露。(このパフォーマンスはマイケル・ブーブレの Facebook で公開中：<https://www.facebook.com/MichaelBuble>) 思いがけない生演奏のプレゼントに倉木さんも大感激。待望の初公演でたっぷりマイケルの素晴らしい生歌声に浸り、オフィシャル・ブログ(<http://lineblog.me/kurakimai/>)でも「日本武道館にて夢のような最高の時間となりました！」とその幸せな様子を綴った。

天性のエンターテイナーとしての才能を余すことなく発揮し、更に多くの日本のファンを引き付けたマイケル。ステージで最後に残した言葉通り、2回目の日本公演で近々戻って来てくれることに期待したい。

倉木麻衣プロフィール：1999年『Love, Day After Tomorrow』でデビュー。同作よりミリオンヒットを立続けに記録し、1stアルバム『delicious way』では400万枚を突破、日本を代表する女性シンガーとなる。デビュー以来シングル40作全てがオリコンTOP10入りしており、自ら持つソロアーティスト歴代1位記録を更新中。音楽活動と平行して、東日本大震災の復興やカンボジア寺子屋支援などの社会活動にも積極的に参加。デビュー15周年を迎えますますます勢力的な活動が期待される。



マイケル・ブーブレ

『トゥ・ビー・ラヴド (ニュー・エディション)』

ワーナーミュージック・ジャパンより絶賛発売中

価格：¥1,886 (本体) + 税

